

菜の花プロジェクトを含む「廃食油回収事業」一般廃棄物処理及び清掃に関する法律の運用



赤木 武男 議員

**赤木** 菜の花プロジェクト（宮地岳地区）に於ける実績と作付面積等の拡大について伺う。

**市民生活部長** 平成25年度作付面積は6.5haで約511ℓ製造され、地元や福岡市へ販売している。作付面積の拡大は農振法や種苗法等の制約があり現状では難しい。

**赤木** 廃食油回収は平成14年開始後順調に推移していたが同22年度頃から激減している。BDF燃料としてもっと活用すべきではないか。

**市民生活部長** 当初学校給食配送車やごみ収集車など公用車の燃料に活用していたが、平成23年度からごみ収集車を民間委託したことで供給量が減少した。BDF燃料は年間22,800ℓの製造能力を有しており今後利用拡大に努力したい。

**赤木** 平成26年10月8日に環境省から「一般廃棄物処理及び清掃に関する法律の適正な運用」について再度通知が行われたが認識は。また、委託事業者との適切な受託の締結は実施されているのか。

**市民生活部長** 環境省の通知の通り、管内の全ての一般廃棄物を適正に処理する責任があると再認識

した。また委託契約に係る費用積算は、受託業務の実態を把握・精査し、社会情勢を踏まえ適正な積算に努めたい。併せて、業務委託仕様書（人員規定）では、誤解を招く標記となっており次年度発注より見直す。

**赤木** 平成26年1月に最高裁判決が言い渡され「廃棄物処理法ではもっぱら自由競争に委ねられる性格の事業ではない」と示されたが見解は。また新たな処理業者の許可申請についての考えを伺う。

**市長** 生活環境の保全と公衆衛生の向上を図り必要不可欠な公共事業であり、今後も適正な処理を継続する。また、人口減少に伴い廃棄物の排出量の増加が見込まない現状にあり、新規の許可はない。

**赤木** 高齢者用肺炎球菌ワクチン接種の定期化が10月より65歳から5歳刻みで実施された。実態調査及び接種勧奨の考えを伺う。  
**健康福祉部長** 肺炎は死因の第3位となっており、市では6,000円の助成を行い2,600円の自己負担で接種できる。10月の接種率は3.5%と少なく、接種向上のため対象者に個人通知を行う。

高校教育・市職員の消防団加入 友好交流都市・文化と観光について



池田 裕之 議員

**【高校教育について】**

**池田** 天草東高校が廃校、天草西・河浦高校が募集停止。天草の中学生の島外進学が増加している。天草市内の高校へ進学したくなる公務員コースやスポーツ学科を備えた高校を市が提案して良いのでは。県教委は「高校を守り立てる動きが市町村に必要だ」と述べている。市がもっと積極的に高校に支援しても良いのでは。高校跡地の利活用について介護福祉士の実務者研修教室や航空高校など誘致に力を入れて欲しい。

**教育部長** 一つの高校に強力な支援をすることは出来ない。市内高校との連絡協議は行いたい。

**【市職員の消防団加入について】**

**池田** 地震や噴火、豪雨災害など自然災害が増えている。総務省では、消防団員確保の為、地域の企業や公務員に消防団加入を勧めているが現在の勧誘効果と市職員の消防団員数は。昼間人口の少ない地域での自主防災会の活動は。地域の避難時マップなどきめ細かい

対策は。台風接近時の避難所にテレビやラジオなど情報機器の設置すべきではないか。

**総務部長** 旧市町ごとでは旧日本渡市消防団員数は定員を満たしている。市職員の加入を勧めなかった経緯もあり2人（40歳未満）。テレビ・ラジオの設置は検討する。



**【友好交流都市について】**

**池田** 東日本震災時、東松島市へ本市職員を派遣した。相互に援け合うためにも国内でも友好交流の締結が必要と思うが。  
**市長** 前向きに検討する。

**【文化と観光について】**

**池田** 河浦の崎津集落が世界遺産の国内推薦を受けた。天草を巡る各地の連携と駐車場の整備など天草全体の取り組みをして欲しい。

起業創業・中小企業支援センターについて



池田 裕之 議員

**濱洲** 支援センターにおいて来年度はどれくらい予算を見込んでいるのか。

**市長** センター長ほか、スタッフの人員費に2,800万円、起業塾やセミナーに1,700万円、事務経費に500万円、総額5,000万円程度を考えている。

**濱洲** センター長の報酬は、月額100万円であるが、なにを算定基準にしたのか。

**市長** 国が県に設置した「よろず支援拠点」のコーディネーターと同額の1日50,000円。月20日勤務を基準とした。

**濱洲** 支援センターの相談者は年間どれくらいを想定しているのか。また、今後どれくらいの起業件数、新規雇用を目指しているのか。

**市長** 相談者の数は年間500人を目指している。また起業件数等については、私のマネフェストである100の起業、300人の雇用拡大を実現させたい。

**【天草ジオパーク今後の取り組みは】**  
**濱洲** ジオパークとは、どういう

ものであるのか。認定を受ければ、どのようなメリットがあるのか。

**観光文化部長** ジオパークとは、その土地の地質、地層、成り立ちを活かした自然公園である。メリットは「大地の遺産」を活用して学校教育への取り組み、観光振興にもつながるものと考えている。

**濱洲** 日本ジオパーク全国大会誘致、世界ジオパーク認定まで視野に入れているのか。

**市長** 全国大会の誘致、世界ジオパーク認定まで、できればと思っている。

**【小学校部活動と社会体育の取り組み】**



**濱洲** 小学校部活動を社会体育へ移行する取り組みを進められているのか。

**教育部長** 現在、市内の小学校で部活動のあり方についてアンケート調査を行っている。  
**濱洲** 部活動の受け皿となる、総合型地域スポーツクラブの設立なども視野に入れて今後検討をお願いする。

瀬戸歩道橋・天草国際トライアスロン大会について



池田 裕之 議員

**【瀬戸歩道橋について】**

**平山** 緊急時の対応は。  
**建設部長** 緊急に通行止めをする場合には、「お願い看板等」の設置や防災無線で周知を図り、早急な復旧を行っている。

**平山** 普段の維持管理の方法、また今後の大規模改修と架け替えの計画はないのか。

**建設部長** 定期点検を年2回（8月と3月）行い、日常点検は操作をお願いしている業者の方が毎日行っている。本年度に歩道橋の長寿命化計画を策定し、その中で延命化を図りながら船舶の運航と利用者の通行の安全を確保していくこととしている。



▲延命化が図られる瀬戸歩道橋

**【天草国際トライアスロン大会について】**

**平山** 今回、第30回の記念大会を終えたが、主催者の天草市としてどのように検証しているのか。

**地域振興部長** 参加者数も定員を満たし、宿泊数も1,000人を超えており、スポーツ・地域振興の目的は果たしている。しかし、国際大会であるが外国人参加者が少ないことや応援者も少ない状況であるので、大会の運営方法を検討する時期に来ている。

**平山** 第30回の大会を機に幕引きし、終了する考えはないのか。

**市長** 市民をもっと巻き込んだ大会を目指すためには「コース」、「大会運営」等の見直す点が多いことから、来年度の大会は休止し、今後、他の主催者や関係団体で検討を行っていく。

**平山** 瀬戸歩道橋の計画的・適正な維持管理、また、こども達のスポーツ大会の誘致をお願いする。